

# 平成21年度 事業実績報告書

## 申請者の概要

申 請 者	団体名	泉南市商工会	
	代表者職・氏名	会長 辻野 常彦	
	所在地	〒590-0521大阪府泉南市樽井6丁目22-3	
	担 当 者	職・氏名	事務局長 松下 三郎
		連 絡 先	電話番号（直通）： 072-483-6365
F a x： 072-483-5321			
		E-mail： <a href="mailto:sennan@mb1.kisweb.ne.jp">sennan@mb1.kisweb.ne.jp</a>	
①設立年月日 ②職員数 （うち経営指導員数） ③所管地域 ④管内事業所数 ⑤管内小規模事業者数 ⑥会員数（組織率）  ※②、④、⑤、⑥につ いては直近の数字を記 載のこと		① 昭和47年7月10日 ② 5名（5名） ③ 泉南市 ④ 2,321事業所（平成18年事業所統計による） ⑤ 1,687事業所（平成18年事業所統計による） ⑥ 1,175事業所（組織率50.6%）	
□主な事業概要（定款記載事項等）			
(1) 商工業に関し、相談に応じ、又は指導を行うこと。 (2) 商工業に関する情報又は資料を収集し、及び提供すること。 (3) 商工業に関する調査研究を行うこと。 (4) 商工業に関する講習会又は講演会を開催すること。 (5) 展示会等を開催し、又はこれらの開催のあっせんを行うこと。 (6) 商工業に関する施設を設置し、維持し、又は運用すること。 (7) 商工会として意見を公表し、これを国会、行政庁等に具申し、又は建議すること。 (8) 行政庁等の諮問に応じて答申すること。 (9) 社会一般の福祉の増進に資する事業を行うこと。 (10) 商工業者の委託を受けて、当該商工業者が行うべき事務（その従業員のための事務を含む）を 処理すること。 (11) 大阪府商工会連合会の委託を受けて商工貯蓄共済事業の業務を行うこと。 (12) 商工業者の福祉厚生に資する事業を行うこと。 (13) 行政庁から委託を受けた事務を行うこと。 (14) 外国人研修生の受け入れに関する事業を行うこと。 (15) 前各号に掲げるもののほか、その他商工会の目的を達成するために必要な事業を行うこと。			

# 各種データ

泉南市商工会

## 経営指導員の相談

相談区分 業種別	巡回相談											相談対象企業数	
	経営革新	経営一般	IT	金融	税務	労務	取引	環境対策	法律	その他	計		うち 会員数
製造業	0	108	0	31.0	6	61	0	0	0	0	206	69	社 社
建設業	0	26	0	24	20	51	0	0	0	1	122	42	
小売業	0	152	3	42	30	26	0	0	0	0	253	72	
卸売業	0	23	0	6	9	3	0	0	0	0	41	17	
サービス業	0	73	0	32	26	45	0	0	0	0	176	61	
その他	0	24	0	6	8	17	0	0	0	0	55	26	
小計	0	406	3	141	99	203	0	0	0	1	853	287	
創業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	0	406	3	141	99	203	0	0	0	1	853	287	258

※その他の内訳

相談区分 業種別	窓口相談（通信、電話等によるものを含む）											相談対象企業数	
	経営革新	経営一般	IT	金融	税務	労務	取引	環境対策	法律	その他	計		うち 会員数
製造業	0	44	0	23	46	138	15	0	0	0	266	88	社 社
建設業	0	28	0	61	115	174	22	0	0	3	403	150	
小売業	0	65	2	55	131	114	14	0	0	0	381	119	
卸売業	0	17	0	15	22	18	2	0	0	0	74	18	
サービス業	0	31	0	47	118	142	18	0	0	0	356	133	
その他	0	16	0	22	47	56	3	0	0	0	144	55	
小計	0	201	2	223	479	642	74	0	0	3	1,624	563	
創業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	0	201	2	223	479	642	74	0	0	3	1,624	563	522

※その他の内訳

注) その他・・・デザイン、技術、事業継承、後継者問題、M&A、BCP（事業継承計画）、CSR（企業の社会的責任）など

注) 会員であるか非会員であるかは、相談した時点で区別すること

## 泉南市商工会

### (1) 事業の目標

一般経営相談・情報提供事業においては多くの事業所の現状や問題点を把握し、情報を提供することにより、地域内事業所の経営の安定や改善を図る。課題別経営相談事業においては財政基盤の弱い事業所に対して、経営のサポートはもとより大阪府の制度融資や日本政策金融公庫等の融資の斡旋を行い資金調達の多様化を図る。また、売り上げ減少に悩む事業所に対して、雇用維持のため中小企業緊急雇用安定助成金等の制度説明を行う。又専門人材等連携促進事業においては金融情報や雇用維持・拡大をめざした助成金の情報を提供する。一方、地域活性化事業においては、地域力連携拠点事業による専門家や大学・関連機関の協力を得て新商品や技術の開発に努め、ものづくり支援事業による展示会や農商工連携型ビジネス創出支援事業などによる地域特産の農水産品を使った新商品開発に取り組み、地域経済の底上げを図る。

### (2) 事業を実施した具体的な内容、方法及び工夫した点

一般経営相談・情報提供事業／各事業所のニーズを十分に把握した上で、迅速且つ的確な回答が出来るよう職員の知識向上を強化し、体制を整えた。特に巡回に力点を置いた活動を行い、現場を目で見ることにより経営環境の変化等にタイムリーに対応した。課題別相談支援事業／景気の低迷による売り上げ減少で資金繰りが厳しい事業所が多く、各事業所の実態に合わせた返済に無理の無い資金供給を心がけ、又法務支援や労務支援においては専門家の助言により即時解決を心がけた。専門人材等連携促進事業／(人・物・金)のうち、[人]に関しては雇用維持・拡大を目指した助成金の情報セミナーを開催し、[金]に関しては融資制度のセミナーを開催し、個別の相談にも対応した。地域活性化事業／農商工連携事業においては大学・診断士・料理家等の専門家に協力を得、地域の農水産品新商品の開発に取り組み、試作品の開発や観光拠点として道の駅的施設[泉南わくわく広場サッポロびあ]に観光サインを設置した。又ものづくり支援事業では熊取町や岬町にも参加要請し広域化を目指し、新しく参加された10社を含め、会場限度の28社が参加し、土・日開催に変更することで2000人の来場があった。又、製造業実態調査においては市内製造業者の約半数のサンプルを得、現状と問題点を把握し今後の製造業活性化取り組みに役立てて行きたい。商業活性化促進事業ではイベントを開催し、独自商品を消費者にアピールした。

### (3) 事業を実施した効果

一般経営相談・情報提供事業／巡回による事業所訪問での実態把握により迅速且つ的確な支援を提供でき、広域多種に渡る諸問題に対応でき、多くの事業所の経営改善や安定に繋がった。課題別相談支援事業／資金繰りの安定化が出来、又労働者の安定やその他の諸問題が解決することで、各事業所が安心して事業に集中することが出来る体制づくりに役立った。専門人材等連携促進事業／セミナーを受講し資金繰りの改善方法を知り、又労務支援においては各種助成金の利用者が増え、経営の安定・雇用の安定や創出に役立った。地域活性化事業／イベントやものづくり展示会に参加することで、事業所に前向きに取り組もうとする「やる気」感じられた。又農商工連携型支援事業において、新商品開発においては試作品の試食において委員より活発な発言や料理家の工夫についてメモする委員も多く、地域ブランド創出への期待が同われ、今後の事業運営に役立った。一方、観光ルートについてもコンセプトを「グリーン・アンド・エコツーリズム」に決定し、特出した名所旧跡が無い現況のなか、泉南ブランドと神社・仏閣等とのコラボによる観光ルート開発により、「泉南発見の食べ歩き」的な希望を見出せた。

### (4) 事業を実施した結果浮かび上がった課題

一般経営相談・情報提供事業及び課題別相談支援事業・専門人材等連携促進事業／3事業共通の課題として、小規模事業者の多くはここ数年徐々に経営内容が悪化し、急場しのぎで対応してきたため、根本的な経営改善の対策が立てられないまま現在に至っており、将来を見据えた経営方針の策定が必要と思われる。地域活性化事業／即売イベントや展示会については参加企業が一部に限られており、今後は参加者が広く行き渡るよう、定期的・継続的なイベントや展示会を開催する必要があると思われる。又、開催場所に付いても一考しなければならないと思われる。農商工連携型支援事業においては、商品化に向け、慎重且つ早急に取り組み、更なる商品の開発や隠れた逸品の創出や発見も必要となる。

### (5) 来年度への取り組み

経営相談支援事業及び専門相談支援事業／利用頻度の低い事業所への巡回訪問に力点を置き、各種の支援や助成制度などの情報を提供し、潜在的な問題点等を発掘し早期解決に取り組む。又、専門的な支援を望む事業所には積極的に対応し、根本的な取り組みが継続的に出来る支援体制を整える。地域活性化事業／農商工連携型支援事業においては、地域ブランド開発では、試作品の商品性を高め、提供の仕方(パッケージング)やブランド名を検討し、観光ルート開発については、ルートマップを作成し、神社・仏閣等の施設とコラボつつ、地域ブランド商品の販売が出来る体制を整える。又、合同就職面接会・ものづくり支援事業・CB社会起業家サポート事業・経営セミナーは、より充実した、かつ効率的な形で事業を実施する為、熊取町商工会や阪南市商工会・岬町商工会と広域連携で実施する。又、前年度実施の製造業アンケート調査を踏まえ、商工業活性化・PR事業として振興に取り組む体制作りからはじめ、地域商工業の活性化に取り組んでゆく。

泉南市商工会

I 一般経営相談・情報提供事業

支援のポイント・成果

支援のポイント／市内小規模事業者等を中心に週二回の巡回体制で臨み、又電話での相談においては必要に応じて随時巡回に出向くなど、早期の情報取得に努め、専門家や関係諸機関の協力を得ながら変化する経済環境に対して的確かつタイムリーな対応を行った。

成果／〔中小企業緊急雇用安定助成金〕については早期の情報提供を行い、自社対応できない15事業所の申請手続支援を行った。又、地域力連携拠点事業の支援を仰ぎ7事業所の専門個別支援を行い、〔ものづくり製品開発等補助金〕については情報の取得から申請までの期間が短期であったが地域力連携拠点事業の支援を仰ぎ、3事業所の申請を行った（認定は1件のみ）。今後も早期の情報取得に努め、事業所の自立支援に努めてゆきたい。

事業名	指標	目標数値	実績数値	達成率	利用者満足度（点）	事業評価
巡回相談	相談件数	900	853	94.8%	95.0	5
窓口相談	相談件数	1,200	1,624	135.3%	95.0	5

II 課題別経営相談支援事業

支援のポイント・成果

支援ポイント／金融危機の拡大により、中小零細企業は融資が受けにくい、国、府の融資制度の普及と利用促進を図り、資金繰りの解消を図る。記帳指導を行うことにより、税務申告の仕組み、記帳等を通じて、確定申告の自主作成を指導する。法務・税務・労務は、困難な問題を解決するため専門家に依頼し、小規模事業者の負担軽減し効率的な経営に資する。成果／地域内小規模事業者の現状として、多くの事業所は資金繰りに困っており、金融においては日本政策金融公庫のマル経融資枠の拡大やセーフ

ティーネットについても借り易くなり日本政策金融公庫との事前相談を行い、経営者の返済負担を極力控えるように取り組んだ。又、小規模資金（経営指導特例）を活用し日本政策金融公庫と併せ、資金繰り対策に取り組んだ。又、労務支援として各種助成金の需給のための要件等についての制度説明や、社会保険・労働保険に関する諸問題について相談を受けた。

事業名	新規/継続	指標	目標数値	実績数値	達成率	利用者満足度（点）	事業評価
金融支援	継続	斡旋件数	32	41	128.1%	95.0	5
記帳支援	継続	支援事業所数	10	10	100.0%	90.0	5
法務支援	継続	相談件数	3	3	100.0%	100.0	5
税務支援	継続	相談件数	3	3	100.0%	100.0	5
労務支援	継続	相談件数	24	24	100.0%	95.0	5

III 専門人材等連携促進事業

支援のポイント・成果

支援ポイント／金融危機の拡大により、中小零細企業は融資が受けにくいので、国、府の融資制度の普及と利用促進を図り、資金繰りの解消を図る。そのため各種融資制度を紹介し、事業所の資金面におけるキャッシュフローの円滑化を図る。又、労務支援においては、各種助成金制度を紹介することにより、事業主負担の軽減を図り、福利厚生充実の充実と努め、労働力の確保を図り、事業繁栄につなげたい。成果／10月22日には大阪府金融担当と日本政策金融公庫担当を招聘し、「金融セミナー」を実施し、公的融資制度の普及、利用促進を図った。また11月12日には新たな雇入れに関する助成金についてハローワーク担当を招聘し「助成金セミナー」を開催し、助成金制度の周知及び利用促進を図った。特にセミナーで取り上げた「実習型雇用支援事業」については問い合わせが多くあり、事業者の関心が高かった。

重点事業	事業名	新規/継続	指標	目標数値	実績数値	達成率	利用者満足度（点）	事業評価
	労働保険セミナー	継続	参加者数	20	15	75.0%	100.0	5
	金融セミナー	継続	参加者数	15	15	100.0%	90.0	5

IV 地域活性化事業

支援のポイント・成果

支援ポイント／商工会による小規模事業者の経営支援はもとより、専門家の招聘や、関係各機関の協力により経営の安定・維持を図る必要がある。今年度は各事業所の支援方法として、ものづくり支援事業をはじめとした各種活性化事業を連携させながら、商品の展示会・イベント実施・新商品の開発・ホームページの充実といった側面からの様々な支援を実施していく。成果／

商業活性化促進事業では、藤まつり・しょうたくんフェスタ2009を開催し、市内事業者等の売上の拡大の機会を創出した。地域力連携拠点事業においては7事業所の経営問題について専門家の助言をいただき、問題の解決に役立った。又、ものづくり支援事業においては、前年と同じ28枠（会場の限界により）であるが、昨年より範囲を広げ、熊取・岬の両商工会からそれぞれ1企業が出展するをはじめ、新たに10企業が出展することになり、企業間交流がより促進され取引拡大に寄与した。製造業実態調査事業については、市内製造業者の最新の状況を把握し、今後の振興策を考える上で貴重な情報を収集出来た。

重点事業	事業名	新規/継続	指標	目標数値	実績数値	達成率	利用者満足度（点）	事業評価
	商業活性化促進事業	継続	イベント参加企業数	10	18	180.0%	90.0	5
	求人・求職マッチング事業	継続	参加企業数	20	15	75.0%	90.0	5
	地域力連携拠点事業	継続	相談件数	7	7	100.0%	95.0	5
	その他(ものづくり支援事業)	継続	参加企業数	28	28	100.0%	90.0	5
○	その他(農商工連携型支援事業)	新規	試作品アイテム数	8	10	125.0%	90.0	5
	その他(大阪勧業展)	継続	参加企業数	4	1	25.0%	70.0	4
	その他(ザ・ワークフェア2009)	新規	参加企業数	2	2	100.0%	70.0	4
	その他(製造業実態調査事業)	新規	サンプル数	130	133	102.3%	90.0	5

泉南市商工会

事業名	農商工連携型ビジネス創出支援事業				
新規/継続	新規				
想定している実施期間	21年(開始)～23年(終了)		今年度1年目		
実施期間全体を通じて予定している事業計画	当市海岸部一帯を中心とした観光開発・整備を行う。また、その中心にある道の駅施設「せんなんわくわく広場サザンびあ」において、水産物・海産物の一次産品はもとより、地産地消として魅力ある二次産品を創出し、市内製造業の製品や特産品を併せて販売する。そのためにイルミネーション、コンサート、写真・料理コンテスト等集客イベントを行う。				
継続事業の場合	これまでの実施状況と効果・成果				
本事業の対象となる地域の現状や課題	泉南市においては、平成20年6月に道の駅施設「せんなんわくわく広場サザンびあ」をオープンし、地元農産物や商品を販売し、また地元漁港で水揚げされた海産物を使用した食事の提供等をして現在まで黒字経営を維持している。しかしながら野菜中心の農産物の販売が主であり、二次産品等の品揃えが望まれている状況である。又、海岸一帯は非常に景観が良い地域でありながら広告・宣伝等による情報の発信が遅れている状況にある。				
目標に対する実績	指標	試作品アイテム数			
	目標数値	8	実績数値	10	達成率 125.0%
目標	道の駅施設「せんなんわくわく広場サザンびあ」を拠点として、地元の製造小売業者・商業者が自社の地域特産品等を泉南ブランドとして、地元だけでなく全国に販売することにより、今後先駆者に追従する事業者も増え、ひいては地域の活性化に繋がることが予想される。売上の増強を図ることが出来、地域経済の活性化が期待される。				
事業を実施した具体的な内容・方法・時期	<p>&lt;観光ルート開発&gt;観光ルート開発分科会等を組織し、観光地域としての泉南市の魅力と特色について、泉南市内外の方からのアンケート調査を実施する等して泉南市の観光振興に関するコンセプト等を協議した。その結果「グリーン・アンド・エコツーリズム」を観光ルート開発のコンセプトに決定し、2年目以降このコンセプトに基づいて観光ルート開発に取組む。</p> <p>&lt;地域ブランド開発&gt;地域ブランド開発分科会を組織し、コンセプト設計等の協議・地域資源の発掘・地域ブランド商品の試作品開発等に取り組んだ。その結果、泉南市の特産品である「あなご」「たこ」「水なす」「玉ねぎ」「梅」等の地域資源を活用した試作品を開発した。</p>				
マスコミ等に取上げられた回数	0 (但し、泉南市の広報紙5月号に、観光ルート開発に於ける「観光サインの除幕式」開催、及び地域ブランド開発に於ける「試食会」実施について掲載される予定である。)				
PR方法とその影響	商工会役員をはじめ、農業協同組合・漁業協同組合・観光ボランティア等の地域の団体にも出向いて、本事業の主旨・目的等について理解していただき委員委嘱を行った。委員の方には、観光ルート開発における「泉南の観光振興についてのアンケート」調査、及び地域ブランド開発における「泉南の食に関するアンケート」調査において多大の御協力を得て、その知人等へのPR活動も合わせて行っていただいた。委員の方それぞれが主体的に取り組んでいただいたことにより、モチベーションが上がった。また、観光ルート開発における「泉南市の観光サイン（PR看板）除幕式」開催と地域ブランド開発における「試食会」実施により、本事業の活動が、認知されつつある。				
利用者満足度（点）	90				
事業評価	5				
実施した効果	<p>&lt;観光ルート開発&gt;観光ルート開発においては、会議やアンケート調査等を通じて「グリーン・アンド・エコツーリズム」を観光ルート開発のコンセプトに決定し、より多くの観光客を誘引するために海岸部の中心に位置するマールビーチに泉南市の観光サイン（PR看板）を設置した。観光サインの除幕式では、泉南市長・商工会会長をはじめ、訪れた地元の人など多数出席し、マールビーチが泉南の観光スポットの重要拠点の一つとして認知される結果となった。</p> <p>&lt;地域ブランド開発&gt;地域ブランド開発では、泉南市の特産品である「あなご」「たこ」「水なす」「玉ねぎ」「梅」等の地域資源を活用した試作品を開発し、商工祭で試食会を実施した。試食会では、50人の方に試食してもらい、それぞれの試作品について様々な意見や感想をいただき、2年目以降の事業の方向性を考える上で貴重なデータを収集した。</p>				
実施した結果浮かび上がった課題および次期以降への取り組み	<p>&lt;観光ルート開発&gt;海岸部等の美しい景観を活かした観光ルート、また地引網体験や日曜朝市が楽しめる岡田浦漁港、地産地消による食の安全を掲げた地元農産物を即売する「せんなんわくわく広場サザンびあ」等の地産地消と農商工連携による観光ルートをアピールしつつ、神社仏閣などの施設とのコラボ、観光ルート内での休憩所や泉南ブランド商品の販売に向けて取り組んでいく。</p> <p>&lt;地域ブランド開発&gt;開発した試作品を各種イベントで試食会を開催し、商品性を高め商品化に努める。また、これら農産物等素材の安定供給や商品製造事業者の選定を行い、それぞれの商品に合ったパッケージの企画や商品名（ブランド名）を検討していく。</p>				
事業全体の収支状況	収入	支出			
	農商工連携型ビジネス創出支援事業	1,303,200円	活動費	920,000円	
	泉南市補助金	1,700,000円	会議開催・消耗品・通信・広告宣伝費	88,734円	
	泉南市商工会	615,231円	商品開発・試食会開催費	337,432円	
	小規模補助金	920,000円	観光サイン（PR看板）設置費	1,245,840円	
	雑収入	25,200円	謝金・報告書等作成費	1,971,625円	
	計	4,563,631円	計	4,563,631円	